

拒絶理由通知書

PP06-P5/SK/J
D/L 12/30

特許出願の番号 特願2006-532098
起案日 平成20年 9月26日
特許庁審査官 望月 章俊 4101 5J00
特許出願人代理人 梶 良之 (外 1名) 様
適用条文 第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出してください。

理 由

A. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

(請求項1-8、13-30について)

第1引用例のパテントファミリーである特表2003-529248号公報の図3、図6、図7、図9、【0009】、【0186】に、CDMA-GSM間またはCDMA2000-WCDMAシステム間で、移動局でのEc/Ioの測定、閾値との比較に基づき、ハンドオーバ、モデム間切替を行うことが記載されている。

第2引用例には、移動端末が、CDMAシステムの基地局と衛星とそれぞれからのパイロット信号の受信レベルとしきい値、経過時間に基づき、アイドルハンドオフを行うことが記載されている。

第3引用例には、図3に、複数の受信信号のEc/Io値を測定し、レベルのしきい値と継続時間のしきい値と比較、判定し、条件を満足する場合、複数の復調器で復調することが記載されている。

第4引用例には、CDMA携帯電話機のモデムのオン／オフ制御を行うことが記載されている。

第5引用例には、CDMAシステムの移動局で、初期化、遊休状態を含むこと

が記載されている。

第6引用例には、移動局のゾーン移動による複数システム（CDMA含む）自動切替において、切替時、初期化（システム決定サブ状態、パイロットチャネル捕捉サブ状態、同期チャネルサブ状態）を行うことが記載されている。

第7引用例には、CDMAゾーン、TDMAゾーンを移動する端末で、モデムを切り替えることが記載されている。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 国際公開第01/067788号（特表2003-529248号公報）
2. 国際公開第2003/045076号（特表2005-535151号公報）
3. 国際公開第01/045295号（特表2003-518789号公報）
4. 特開2001-16286号公報
5. 国際公開第2003/017621号（特表2005-500749号公報）
6. 国際公開第98/39938号（特表2001-514813号公報）
7. 特開平7-222227号公報

B. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

（請求項4、5について）

a. 請求項1にモデム切替方法とあるが、意味が不明である。（請求項1に記載のモデム切替方法ではないのか。）

（請求項16、20について）

b. オーバーレイ地域に位置する判断されるとあるが、意味が不明である。（オーバーレイ地域に位置すると判断されなければならないのか。）

よって、請求項4、5、16、20に係る発明は明確でない。

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項（9-12）に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

整理番号:

発送番号:587551 発送日:平成20年 9月30日

3/E

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第8版

H 0 4 B 7 / 2 6

H 0 4 Q 7 / 0 0 - 7 / 3 8

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 伝送システム 望月 章俊

TEL. 03 (3581) 1101 内線3534

FAX. 03 (3501) 0699